

令和6年度

勇足小規模多機能型居宅介護事業所

「ゆうあいの里」

外部評価結果

■事業所自己評価

■小規模多機能型居宅介護

「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	8	0	0	10
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	6	1	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	7	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	5	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	5	1	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	初期支援時には本人の情報やニーズを職員の間で共有し、新たな情報は毎月のケースカンファレンスで共有し、関わりを持つようにしていく。		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている	C:あまりできていない
初期支援時の利用開始前には新規利用者情報で共有、周知して新規利用者が不安のないよう支援開始している。毎月のケースカンファレンスでは情報を共有している。			
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者情報に各自目を通して確認して新規利用者が不安のないよう迎えることができた。 毎月の会議でケースカンファレンスを行い共有することができた。 		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のケースカンファレンスを行っているが利用者の身体状況、新たな課題等に個人の意識に差があり、関わりを持つ中で生かされていない場合がある。 ケースカンファレンスでは、皆で内容を検討するためにもう少し時間をかけて話し合いを持った方が良かった。 		

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと話し合う時間的な余裕が持たずスタッフ全員がその都度共有していくことが難しい。 本人、家族との関係づくりが、チームとしては機能できておらず全員で受け止めることが難しい。 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

初期支援時には本人の情報やニーズをスタッフ間で共有し、その後のケアの方法や家族との関係づくりに関しては、管理者・ケアマネ・担当スタッフで話し合う場を持ち、ケースカンファレンスで共有してチーム全体として機能していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	3	0	10
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	5	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	5	3	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	3	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	担当制を継続して利用者の理解を深めていき、全利用者のファイルを見やすく整理したので、本人の目標を把握できるよう職員同士で声掛けをして共有し、目標達成に向けた関わりや対応に活かしていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない 担当する利用者との関わりを持ち、理解につながっている。本人の希望等共有している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	担当する利用者との関わりを持つことができ、モニタリング・評価により目標達成状況を確認している。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	ファイルに目を通していない職員もおり、目標等の把握につながっていなかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・担当以外の利用者については重要性が伝わらずにケアに活かされず関わりが薄くなっている。 ・ケースカンファレンスの時間が足りず、ゆっくりと利用者の今後のケアについて相談する機会がなく、決められた事を行うだけになり対応に生かせなかった。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

担当制は継続して利用者の理解につなげていくが、担当以外の利用者についてもケースカンファレンスで活発な意見を出し合い対応に活かしていく。

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	7	1	0	10
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	6	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	6	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	3	5	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	5	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	5	2	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの情報を収集し細やかな情報でも共有して、利用者にとって最適な介護を提供する。 ・利用者の状況や置かれている環境を把握した上で困っていることや不安に思うことなど理解するように一人ひとりが努める。 	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている C:あまりできていない
情報を収集し共有することはできた。ただその後の取組みを検討して支援につなげるまでに至らないこともあった。		
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	利用者とのコミュニケーションを通し日々の変化、希望・苦情等情報収集しミーティングや記録で共有することができた。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	情報を収集しても職員間で意見の違いを詰めるまでできず、全職員に共有できていない時もある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～⑤、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
収集した情報を話し合うことができず共有できていない時があった。日々の業務や清掃業務等で精一杯になっている。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」を10個以上把握するよう努める。 ・日々の業務や清掃業務等の効率化を図り、利用者とはゆっくりとコミュニケーションを取って利用者の気持ちや体調の変化の気づきを日々のミーティングで話し合い、その都度変化に対応して支援に活かしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	2	1	1	10
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	6	1	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	5	1	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	5	1	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	5	2	2	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	利用者を取り巻く家族や地域の方などに積極的にあいさつをしたり行事に参加することで、信頼関係を築き関係を切らさないようにしていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない 地域の方と行事等に関わる際には積極的に信頼関係を保てるよう努めた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	行事等に関わりを持つ際は積極的に挨拶し、協力し合える関係性を維持している。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	地域の行事にできるだけ参加したが、利用者全員で参加する事が難しかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ゆうあいの里の行事に参加されていない方や民生委員との関わりが少なく、地域資源に関しての把握ができていない。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

利用者が地域での暮らしを継続するうえで、多世代との交流ができるよう地域の活動に積極的に参加していく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原有美・田野和良・中井宙
山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	3	1	0	10
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	2	6	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	4	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	4	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	3	1	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	家族との情報を共有し、利用者の変化を見逃さずに職員一人ひとりの気づきをミーティングやケースカンファレンスで共有していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない ラインワークスを使用して家族との情報共有を行い、利用者の変化時はミーティングや連絡ノートを通して共有している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	ミーティングを通して利用者情報を共有し、家族ともラインワークスを使用してまめに共有できている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	ミーティングや会議では自分の意見を押し通すような場面もある。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること 一人ひとりの気づきや意見を言いやすい雰囲気作りや、提案の形で話すなどして、より良いサービスを行っていく。
------------------------	--

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・利用者の日々の変化を見逃さず状況に応じて「通い」「訪問」「宿泊」の必要なサービスを柔軟に行い寄り添ったサービスを提供するために、前向きで積極的な意見交換や、スタッフ一人ひとりの気づきや意見を言いやすいよう職員間で配慮して、より良いサービスを提供する。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

6. 連携・協働

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙
山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5	1	1	3	10
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	2	0	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	1	0	5	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	2	1	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	6	0	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	地域の相談窓口として、利用者と地域の関係がとぎれないように配慮していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない 地域と行事等で交流できるよう取組みができた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	保育所、小学生に事業所に来てもらい交流する機会を設けることができ、子どもたちの姿に利用者がとても喜んでいました。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	スタッフの人員不足により、地域交流に全職員・全利用者が参加できるよう配置できなかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
サービス機関との会議は特定の担当者へのみの参加になってしまう。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

利用者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、多くのスタッフが地域の活動やイベントに参加して関わりを持ち連携を計っていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

7. 運営

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0	8	1	1	10
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	0	8	2	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	6	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	4	2	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	3	4	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
利用者主体の介護、運営にあたり、変化への柔軟性を持ち意見交換しやすい環境を作りチームワークの向上を目指す。また地域の相談窓口として、関係性の構築と情報共有を図る。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
意見交換しやすいよう環境作りに努め前向きに実行して情報共有を図った。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
様々な意見が出ており柔軟な意見交換を行うことができている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
一方的な意見、対立する意見など個人の主観もあり、利用者全体の介護・運営に反映されていない時もある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
地域の方からの声を積極的に聞くことができなかった。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

スタッフ一人ひとりが利用者・家族・地域の方の声を聞くことを意識して、利用者のニーズに沿ったサービスにつなげて事業所の運営に反映していく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 25 日

8. 質を向上するための取組

メンバー 森内久美子・志戸田由美子・富川真寿美・野原育美・田野和良・中井宙
山本真澄・古澤智子・笠原君枝・篠原寿美江

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	3	1	10
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	2	2	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	4	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	2	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	研修後の情報を徹底し、取り入れて復習する場を設け個々に学んだ事をアウトプットし、チームとしてスキルアップを目指す。連絡会については情報をまとめラインワークスを活用し周知徹底することで参加を促して行く。		
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている	C:あまりできていない
キャリアパス、内部研修に積極的に参加したがアウトプットが不足している。			
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	研修に参加し業務に役立てている。		
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	人員不足もありシフトに余裕がなくスキルアップのための時間が取れず、チームとしてのスキルアップになかなかつながらなかった。		

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
夜勤や夜勤明けや休日に研修が重なるとシフト上の問題で参加が難しかった。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・シフト上の問題もあるが、なるべくスタッフ全員が研修に参加するようにして個々のスキルアップにつなげていく。 ・介護事故を起こさないようヒヤリハット事例を皆で共有し、日頃から事故防止のための取り組みを心がける。

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	2	0	10
①	身体拘束をしていない	6	4	0	0	10
②	虐待は行われていない	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	2	7	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	6	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	5	0	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	言葉の抑制(スピーチロック)を意識して利用者さんと接するようにする。
②前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない スピーチロックを意識して関わっていたが、業務に追われている時や利用者の安全を確保する時等は配慮に欠けてしまう。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	基本的な配慮のある声掛けと尊厳のある言葉遣いを心がけている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	すぐに対応できない時など無意識のうちに使ってしまうこともあり、言い換えるスキルが不十分だった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること 職員間の情報共有やミーティング等、職員同士の会話の場所が利用者と同じ場所であり適切でなく、プライバシーの配慮に欠けてしまうことがある。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

利用者のプライバシーや尊厳が守れるよう努めると共に、利用者に対して尊重する気持ちを持って声かけを行う。言葉遣いに気をつけていくようスタッフ感でもお互いに声をかけ合いながら質の高いケアを目指す。
--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 福家 立雲	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	森内 久美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	4人	1人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
事業所自己評価の確認	・引き続き問題点や改善点について職員間で情報共有を図る。	・利用者に対しての初期支援、日常支援等については1ヶ月毎の全体会議で問題点や改善点について情報共有できた。		・さらに情報共有を進めるために、職員間のチームワーク・連携を図り業務改善へとつなげていく。
A. 事業所のしつらえ・環境	・整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、季節ごとの作品展示を行い居心地の良い事業所作りを意識する。 ・事業所の外観は、花壇作りをして地域の皆様や利用者が気持ち良く思えるよう環境を整える。野菜畑は利用者とできる範囲で規模を縮小して続けていく。	・事務所内のリビングの整理整頓をスタッフ皆で取り組み、季節ごとの作品作りを利用者と一緒に取り組んで居心地の良い居場所にできた。 ・花壇にはいろんな花を植えて利用者にも草取りなど一緒に取り組み、秋まで花が咲くのを楽しめた。野菜畑はジャガイモを植えて収穫することができた。		・整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、季節ごとの作品展示を行い快適で居心地の良い事業所作りを意識する。 ・事業所の外観は、花壇作りをして地域の皆様や利用者が気持ち良く思えるよう環境を整える。野菜畑は利用者とできる範囲で規模を縮小して行う。
B. 事業所と地域のかかわり	・社協だより、ゆうあい便りで事業所が困りごと相談の窓口になっていることを地域に周知していく。老人クラブの集まりや自治会の総会などに職員も出席して事業所を周知し気軽に話せる関係性を築いていく。 ・オレンジカフェのチラシは市街地だけでなく勇足全地区に周知していく。	・ゆうあい便りを定期的に発行してゆうあいの里の様子を発信し、お便りを通して相談体制の周知を行っている。 ・オレンジカフェは広報と一緒に勇足全地区に配布して周知し、元町以外の地域から参加していただけた時もあった。		・ゆうあい便りでゆうあいの里をアピールして、気軽に相談してもらえるよう地域に周知していく。事業所を周知して気軽に来てもらえる関係性を築いていく。 ・オレンジカフェのチラシは元町だけでなく勇足全地区に配布して相談体制の周知をしていく。
C. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・引き続き「ゆうあい便り」を通して事業所の日々の取り組みや役割・機能について周知し、地域の行事があれば利用者、職員で参加して、地域の方々と事業所のつながりが途切れないようにしていく。 ・ゆうあいの里が主体となったイベントを企画し、地域全体のイベントとして行うよう取り組む。 ・引き続き管理者やケアマネジャーが地域を訪問する機会を増やし、事業所の説明、相談を受ける機会を増やしていく。	・ゆうあい便りを発行し、事業所での行事や日常の様子、利用者の作品などを地域にゆうあいの里の状況を伝えている。 ・利用者と一緒に行う勇足夏祭りや小学校の運動会や学習発表会に参加、保育所との交流も行い、子どもたちとの交流にとっても喜ばれていた。 ・遠足や外食の企画を立てて少し遠出のドライブも行き、利用者も気分転換をはかる事ができて喜ばれていた。	・ゆうあい便りで行事等が周知されているので良い。行事をこなしており、地域住民も参加しているので良い。 ・管理者、ケアマネジャーの出向く機会が、他事業所よりスタッフの人数が少なく余裕が取れずなかなか取り組めていない。	・引き続き「ゆうあい便り」を通して事業所の日々の取り組みや役割・機能について周知し、地域の行事があれば利用者、職員で参加して、地域の方々と事業所のつながりが途切れないようにしていく。 ・業務の効率化を図る中で、定期的に日程を決めた上で、ケアマネや管理者が地域の戸別訪問をする機会や、地域の会議で説明する機会を作っていく。

<p>D. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施するため、運営推進委員と協議・検討を重ね、地域とのつながりが途切れないようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、事業所や利用者の状況を情報共有することができている。また、委員の皆様から地域の困りごとや気になる方に対する情報が出されれば、適切な機関やサービスへ繋ぐことができている。 ・委員の皆様からの地域で気になる方の情報共有をして改善するよう協議している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施するため、運営推進委員と協議・検討を重ね、地域とのつながりが途切れないようにしていく。
<p>E. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した業務継続計画（BCP）（非常災害対策計画）を、運営推進会議委員の皆様へ周知し、実践的な計画にしていくため、火災の際の学校や自治会の協力を含めた避難訓練を実施していく。また、水害時の地域の協力の在り方や運営推進委員長の役割などを具体的に検討していく。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時の訓練の他、BCP 中の「水害時等避難訓練マニュアル」に基づき、水害時の避難訓練を実施しているが、自治会の協力体制の確立や、運営推進委員長の役割の明確化をするまでは至っていない。 ・水害時の常時泊り利用者及び住宅居住者の受入先についての検討が不十分なので、町との協議が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勇足元町自治会の防災訓練は現在行われていないので行った際には、ゆうあいの里と一体となり行いたい。 ・委員長が何かの役割を担うというよりは、事業所が主体となり、自治会の協力を少しでも得られるようにした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・災害対策として、地域の協力を得、連携を図りながら避難訓練等を行い、水害時の避難を含めた関係機関との協議を継続して行っていく。

